

復興金融ネットワークメンバーによる復興に関する取組事例

団体名	盛岡信用金庫	
取組名称	ファンドによる起業支援の取組み	
取組概要	<p> 【背景と経緯】 当金庫において、営業エリアの人口減少、事業所数の減少による地域経済への影響は深刻だった。また、東日本大震災をきっかけに、沿岸部から内陸部へ人の移動が起こり、中でも技術力や経験豊富な人材が、内陸部である盛岡市近隣市町村で起業することが予想された。そのことは地域にとって大きなプラスではあるが、融資による支援に限界を感じていた当金庫は、資本性の資金を提供することで起業支援が可能では、との考えを持ちファンド設立を決定。 </p> <p> 【具体的な取組内容】 平成24年8月にFVC(株)、当金庫、盛岡市、滝沢村(現・滝沢市)が直接出資の地域ファンドを設立し、平成25年6月には矢巾町、紫波町も出資参加。 投資対象は、当金庫営業エリア内の19市町村に本社を置く、原則として会社設立から5年以内の企業とし、第二創業等も対象。投資額は1社あたり最大5百万円。 </p>	
取組成果	<p> ○ファンド総額 100百万円 ○投資実績(平成30年12月現在) 投資実行累計 10社、31.5百万円 平成25年3月に、東北財務局長から平成24年度地域密着型金融に関する優れた取組みとして、顕彰をいただいている。また、平成26年6月、一般社団法人全国信用金庫協会が主催する第17回「信用金庫社会貢献賞」において、本取組みが評価され『地域活性化しんきん運動・優秀賞』を受賞。 </p>	
その他	「復興金融事例集」掲載事例	
URL等	当金庫HP該当ページURL http://www.morishin.co.jp/chiiki/?id=kigyofund	

【ファンドスキーム図】

